

平成25年度 指定管理者評価結果

施設名	岐阜県立幸報苑
指定管理者	社会福祉法人 岐阜県福祉事業団
共同体である 場合の構成員	
施設所管課	健康福祉部 障害福祉課
管理運営に対する 評価について の意見	管理基準の充足状況 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月研修を行い、職員の関係業務への理解や支援向上への取り組みとして評価できる。 ・受託工賃作業を積極的に受け、利用者の生きがいと生活の質の向上に努めている。 ・毎月1日、なんでも相談を開き、利用者へのサービスの充実と改善に努めている。 ・個別ケアの提供として、個別支援計画、栄養マネジメント、生活リハビリ、同性介護、受託工賃作業の積極的活用などに、多職種が協働で取り組んでいることは大いに評価できる。 ・全利用者との年2回の話し合い、職員による「何でも相談」、自治会の意見を反映した行事等の実施等利用者ニーズの把握に努め、サービス向上を目指している取組は評価できる。 ・利用者の高齢化、重度化を受け、介護技術の研修を設けるなど、ニーズに即した対応が評価できる。 ・旧授産施設の特徴を生かし、利用者のニーズに沿った作業を積極的に取り入れた施設運営に努めた。 ・地域移行に関する努力はしていることは認めるが、利用者の希望に近づけるように更なる工夫を望む。
	設置目的の達成状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ定員を充足して入所している。地域移行プログラムによる支援が行われているが、特別のプログラムが組まれている。 ・生産活動や、レクレーションの余暇をしながら、利用者のパーソナリティを尊重して、規則正しい生活ができるよう支援している。 ・苦情相談に外部の方を相談員とする機会を設け、利用者からの相談を受け入れやすくするなど対応に前向きな点が評価できる。 ・調査や各会議を通じて、利用者の声を吸い上げようと努力している。 ・地域生活移行支援プログラム希望者の6名について、具体的な支援内容に工夫が窺える。
	公共性の確保の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月避難訓練を行うなど、危機管理については比較的よく取り組まれている。 ・夜勤体制を2名として、より安心安全なサービスが提供できるよう努めている。 ・重度高齢化する利用者の安心安全のため、夜勤体制の充実を図っている点が評価できる。 ・介護体験、学生の実習、県職員の研修を積極的に受け入れている。 ・地元地域関係者による経営委員会、地区自治会と近隣施設懇談会、地区防災担当者会議に参加するなど、地域との連携を図っている。
	経営状況 <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況は概ね適正である。 ・設備等の点検に努め、修繕して必要なところは早期に対応している。

	<p><u>その他派生的効果等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの協力を得て、苑内の諸行事を実施するとともに、余暇支援の充実にボランティアを積極的に受け入れている。 ・地域住民との施設運営委員会、大桑地区の福祉施設防災担当者会議、保育園との交流、ボランティアやサマースクールの受け入れなど、地域に開かれた施設づくりを実践できている。 ・コミュニティーバスの利用により、また他の外出支援策により、利用者の生活の質の向上に取り組まれている点が評価できる。今後もより充実させることを望む。 ・地域の保育園、小学校との交流が定期的に行われている。 ・行事（夏祭り）を含むボランティアの来苑があり、利用者の余暇などの交流がある。
<p>県 の 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。